

岡山市中区平井学区地震・津波・洪水からの避難マップ2016
**マップづくりのもとになる
 小学生・地域住民の意見・指摘のまとめ**

1. 平井小学校児童(2014年度5年生)が作成した『地震・津波・洪水からの避難マップ』のまとめ
 ○2014年度の5年生が通学班単位(2~6名)で作成したマップに記載した意見・指摘を集約した。
 (アンダーライン部分は確認が必要な内容)

2. ワークショップ
**「子どもと高齢者を守り、地震・津波等の災害に備える」
 で出た意見・指摘のまとめ**
 ○2015年11月7日に開催したワークショップで出た意見・指摘を整理した。

1. 平井小学校児童(2014年度5年生)が作成した『地震・津波・洪水からの避難マップ』のまとめ



平井小学校 漢(みなと)A班
 凡例: □=危険 ○=安全

- 1 道が狭い
- 2 道が広い
- 3 電柱
- 4 田んぼ
- 5 橋がせまい
- 6 橋が広い
- 7 がりけずれ
- 8 古くてせまいいけん
- 9 土地が高い
- 10 土地が低い
- 11 フェンスがない

【注】平井小学校2014年度の漢(みなと)A班は危険箇所を記号を使い体系的にまとめた。可能な限り原形に近い状態で掲載した。

真っ直ぐな道(市道東山平井線)と倉安川の交わる所・山陽学園南

- 水がある
- 用水路がある
- 川の力が津波でふえる。
- 橋(尾崎橋)
- 道が広い
- (山陽学園の)駐車場こんざつ
- (倉安川の北は)家が少ない
- 電柱
- 電柱多い
- ブロックべい注意
- 交通事故注意
- みぞがある
- 田んぼ注意
- 安全広い道
- 道が広い
- 道がまっすぐ
- じゅうたいするかも
- あまり人が通らない
- 安全広い道
- 交通事故
- 用水路あり
- 【注】平井小の児童は小学校西側の道を「真っ直ぐな道」と呼んでいる。

広い道 (県道45号岡山玉野線)

- 安全広い道
- 道が広い
- 道がまっすぐ
- じゅうたいするかも
- 家が多からガスもれしてもえる
- 川があぶない
- 屋根がわがら落ちてくる
- ゴミがある
- 【注】平井小の児童は県道岡山玉野線を「広い道」と呼んでいる。

真っ直ぐな道(市道東山平井線)

- 水がある
- 用水路がある
- 川の力が津波でふえる。
- 橋(尾崎橋)
- 道が広い
- (山陽学園の)駐車場こんざつ
- (倉安川の北は)家が少ない
- 電柱
- 電柱多い
- ブロックべい注意
- 交通事故注意
- みぞがある
- 田んぼ注意
- 安全広い道
- 道が広い
- 道がまっすぐ
- じゅうたいするかも
- あまり人が通らない
- 安全広い道
- 交通事故
- 用水路あり
- 【注】平井小の児童は小学校西側の道を「真っ直ぐな道」と呼んでいる。

2. 住民のワークショップ「子どもと高齢者を守り、地震・津波等の災害に備える」で出た意見・指摘

2013年度に作成した避難マップと、作成中のマップの草稿を示しながら、ワークショップを実施した。参加者から出た意見・指摘を4つのグループ「災害」「記載内容」「マップの表現」「マップの使い方」に分類した。意見・指摘を可能な限り取り入れた地図を作成した。その作成方針は次の通りである。
 ○住民が各家庭で避難路を決めることができるように、ほぼすべての学区内の道路を図示する。

○デジタルの線画で地図を描く。○図上で避難距離が計れるように縮尺を明示する。
 ○避難路候補は平井小学校の通学路を基本に、必要と考えられる避難路候補を付け加えた。これは2013年度版の継承である。○白黒面は編集活動で得たデータ。カラー面は住民各自が家族と相談しながら、自宅、避難先、避難路を書き加えることにより完成するマップとした。

災害

- 平井小学校 東山公民館、コミュニティハウス周辺は道が細く防犯も考慮するとちょっと不安。
- 東北の経験から、車で逃げると渋滞になる。安全な細い路地を逃げるの道を選びたいとのこと。
- 山は近頃は地震が起きた場合土砂崩れが起きている。山は土砂崩れや、巨大な石が落ちてきそう。川は危険。
- 山は近頃は地震が起きた場合土砂崩れが起きている。山は土砂崩れや、巨大な石が落ちてきそう。川は危険。
- 山は近頃は地震が起きた場合土砂崩れが起きている。山は土砂崩れや、巨大な石が落ちてきそう。川は危険。

記載内容

- 避難場所、岡山市、平井学区の指定場所が通う。
- 用途によって情報量が必要がある。
- 避難場所を解りやすく明示
- 避難所のなかで高い所を明記しメインの避難路を書く。
- どこまでが危険か? 日中の危険、夜間の危険、震災後の危険。
- 住民だからこその知っている道等、平井住民の声を集めて、文字の大きさ、色づけに工夫を。
- 津波の高さ、洪水の深さは見方が解らない。解りやすい規準を説明に入れてほしい。

マップの表現を解りやすく

- マップを見る手順。緊急時に混乱しても解るよう。①あなたはここ。②避難場所はここ。
- 情報が多すぎると解りにくい。
- マップに記載する範囲を狭くし、細かい点を確認しやすい。
- わかりやすい地図、子どもが見てもわかりやすいもの。
- 津波の高さ、洪水の深さは見方が解らない。解りやすい規準を説明に入れてほしい。

マップの使い方

- 家族で危険箇所を確認する際に使用する。
- 家族で危険箇所を確認する際に使用する。
- 家族で危険箇所を確認する際に使用する。
- 家族で危険箇所を確認する際に使用する。
- 家族で危険箇所を確認する際に使用する。

真っ直ぐな道(市道東山平井線)

- 水がある
- 用水路がある
- 川の力が津波でふえる。
- 橋(尾崎橋)
- 道が広い
- (山陽学園の)駐車場こんざつ
- (倉安川の北は)家が少ない
- 電柱
- 電柱多い
- ブロックべい注意
- 交通事故注意
- みぞがある
- 田んぼ注意
- 安全広い道
- 道が広い
- 道がまっすぐ
- じゅうたいするかも
- あまり人が通らない
- 安全広い道
- 交通事故
- 用水路あり
- 【注】平井小の児童は小学校西側の道を「真っ直ぐな道」と呼んでいる。

ひなん場所(ばしよ) 平井小学校

- 安全広い道
- 道が広い
- 道がまっすぐ
- じゅうたいするかも
- 家が多からガスもれしてもえる
- 川があぶない
- 屋根がわがら落ちてくる
- ゴミがある
- 【注】平井小の児童は県道岡山玉野線を「広い道」と呼んでいる。

広い道 看板がある (県道45号岡山玉野線沿道)

- 安全広い道
- 道が広い
- 道がまっすぐ
- じゅうたいするかも
- 家が多からガスもれしてもえる
- 川があぶない
- 屋根がわがら落ちてくる
- ゴミがある
- 【注】県道45号岡山玉野線に面して、店舗のおおきな看板が並ぶ。小学生にとって災害時を考えると、不安な存在と考えられる。



凡例(ちぎさごうのみほん)

- 避難施設 (にげいくところ)
- 避難路候補 (通学路) (にげるみち(つうがくろ))
- 避難路候補 (通学路に加えて) (にげるみち(つうがくろ)のほか)
- 主な公園・広場 (おもなこうえんひろば)
- 主な公共・公益施設
- 主な建築物 (おもなたてもの)

